初心者さんでも3回のレッスンで30分で着られるようになる

ゼロから始める着付け教室

-2回目**-**

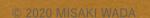




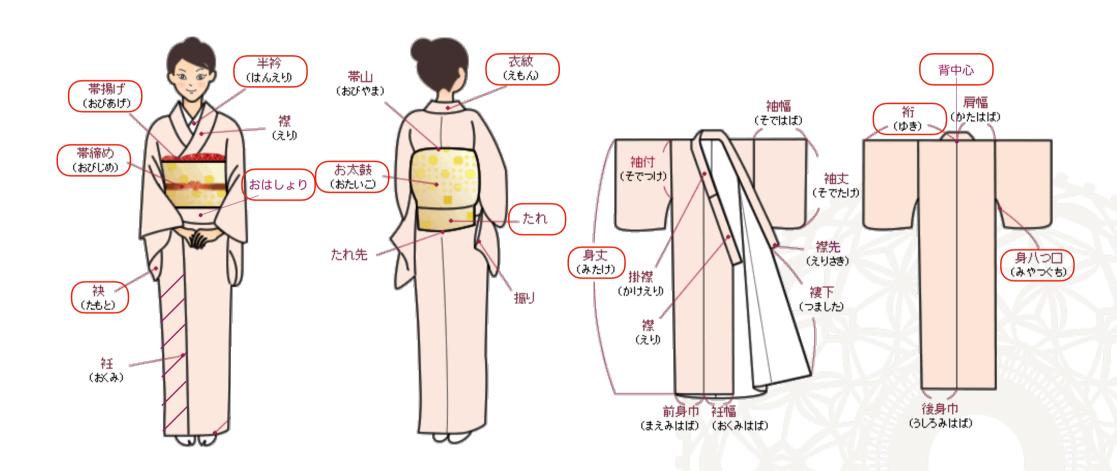


着物を着るときに必要なもの

和装ブラ	1	
足袋	1	
肌襦袢	1	
補正用品	1	
タオル	2	
長襦袢	1	
半襟	1	今回は不要
襟芯	1	今回は不要
腰紐	3	
伊達締め	2	
コーリンベルト	2	
帯板	1	
クリップ	3	
枕	1	
帯揚げ	1	
帯締め	1	
草履	1	
着物	1	
帯(名古屋帯)	1	



着物の名称



赤マルのしてある名称は覚えましょう

着付けの流れ

- 1、和装ブラをつける
- 2、足袋(たび)を履く
- 3、肌襦袢(はだじゅばん)を着る
- 4、補正する(胸、腰)
- 5、長襦袢(ながじゅばん)を着る(伊達締め)
- 6、着物を着る(腰紐、コーリンベルト、伊達締め)
- 7、帯板をする
- 8、帯を締める(枕、帯揚げ、ひも、クリップ、帯締め)







5、長襦袢を着る(伊達締め)

衿を合わせて片手で持ち、 後ろから肩に掛けて袖を通す。





左を前にして重ねて、左の身八つ口から、紐を通し、 背中の紐通しを通って、前で紐を結ぶ。



背中のシワを伸ばす。脇に寄せておく。







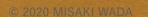




6、着物を着る

衿を合わせて片手で持ち、 後ろから肩に掛けて袖を通す。

長襦袢の袂を持って、袖に入れて、整える。







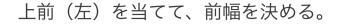


衿の縫い目のところと、背中心持って、前後に往復して、背中心を合わせる。

裾線を決める。









決めた前幅を広げ、下前(右)を巻く。 先を7~8cm持ち上げる。

上前(左)を合わせて先3~4cm持ち上げ、右手で腰骨の上を押さえる。

こうすることで、裾すぼまりの形になり、キレイな仕上がりに。



腰紐の中心を前に当て、後ろを通って、 前でしっかり結ぶ。

おはしょりを作ります。 身八つ口から手を入れて、 前後を整える。





もう一度、背中心を整える。

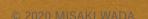
衿を整える。



おはしょりをキレイにします。 内側のおはしょりを上に折り上げる。

*便宜上、左袖を脱いで、よく見えるようにしています。

特に、左側をしっかり折り上げて整えます。





コーリンベルトを付けます。(長め)



左の身八つ口を通って後ろへ。





後ろからまわして上前の衿に2cmほど折り曲げて留める。 ウエストよりやや高い位置。







2本目のコーリンベルトを付けます。 左のたるみに付けて、後ろを通り、



右の身八つ口の縫い目下に留める。





後ろのシワを伸ばして、 伊達締め、帯板をして、着物は完成!



伊達締め



帯板



着物は完成!



8、帯を締める(名古屋帯)

枕に帯をセットします。 枕が帯の中心にあるか、確認。



枕に帯揚げをつける



仮紐を置く





枕に沿うように、帯をおる



仮紐と帯を持って上に上げる





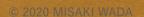






タレは指1本分。

クリップで固定する。





裏返す。 枕と帯を持って、腰に巻く。







帯揚げは、軽く結んで、一旦預けておく。

右側から帯を胴に巻く。



一巻きしたら、左手で枕、右手で帯の下(輪の部分)を持ち、 帯を上下に動かして締める。



左胸下の長さでクリップ。 胴に巻いた帯を一旦外す。

クリップの長さで帯を織り込む。

胴に巻く。









再度、左手で枕を持ち、右手で帯を持って、締める。

クリップで留めておく。





仮紐を前で結ぶ。

お太鼓のクリップを外す。

左手は仮紐に沿って、右へ。 仮止めしてあったクリップを外し、 外側に折るようにして、 お太鼓の中に入れる。





左手で押さえておく。

右手で帯締めの真ん中を持ち、 お太鼓へ。 両手で左右から帯締めを出す。





左を上にして、結ぶ。

何度か締めて、しっかり結ぶ。

仮紐を外す。



帯揚げを整える

完成!!

